

かくだ

Kakuda city

市議会だより

第168号

平成24年11月1日



▲決算審査特別委員会による現地調査のようす（平成24年9月12日 角田市陸上競技場にて）

■おもな内容■

第364回定例会 2～8

- ◇本会議の概要..... 2～3
- ◇審議結果一覧..... 3
- ◇意見書の提出..... 3
- ◇決算審査特別委員会..... 4
- ◇一般質問..... 5～8

第363回臨時会 4

- ◆子ども議会を開催します..... 9
- ◆行政視察の報告..... 10～11
- ◆12月定例会日程(予定) 12
- ◆議会日誌..... 12
- ◆編集後記..... 12

平成23年度の決算を 認定しました

第364回定例会は、9月5日に招集され、9月27日までの23日間の会期で開催されました。市長提出議案は人事案件をはじめ条例、平成24年度各種補正予算、平成23年度決算認定、諮問などあわせて18件、議員提出議案は1件で、18議案については原案のとおり可決し、条例案1件は継続審査となりました。

本会議

◎**第1日(9月5日)**
会期を23日間と決定した後、平成23年度健全化判断比率について及び平成23年度資金不足比率についての報告がありました。続いて、角田市表彰条例による表彰者について、副市長の選任について及び教育委員会委員の任命についての人事案件3件と人権擁護委員の候補者の推薦についての諮問1件について、提案理由の説明があり、審議の結果すべて原案のとおり同意しました。その後、平成24年度各種会計補正予算など12議案の提案理由の説明の後、会計管理者による23年度決算の説明と喜多正行監査委員による決算審査報告がありました。

◎**第2日(9月12日)**
9月5日に提案された12議

案に対し、渡邊誠議員、日下七郎議員、本田敏昭議員の3名が質疑を行いました。また、条例の制定に関する3議案については、それぞれ所管の常任委員会に付託され、23年度各種会計決算認定の議案については、決算審査特別委員会(本田敏昭委員長、八島定雄副委員長)を設けて審査を付託しました。

◎**第3日(9月25日)**
平成24年度角田市一般会計補正予算など7議案について、いずれも原案のとおり可決しました。

(3ページ参照)
その後、一般質問が行われ、3名の議員が市政全般について質問を行いました。

◎**第4日(9月26日)**
前日に続き、5名の議員が

一般質問を行いました。(6～8ページ参照)

◎**第5日(9月27日)**
常任委員会へ付託した条例議案について、細川健也総務財政常任委員長と谷津睦夫産業建設常任委員長からそれぞれ審査の経過及び結果が報告されました。そのうち、一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定については継続審査となり、そのほかの3議案については、原案のとおり可決しました。

また、決算審査特別委員会に付託した決算議案の審査結果について本田委員長より報告があり、審議の結果、いずれも賛成多数で認定しました。

引き続き、市長から追加提出された2議案について提案理由の説明があり、採決の結果、原案のとおり可決しまし

た。さらに、本田敏昭議員を提出者とする地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の議員提案があり、採決の結果、原案のとおり可決されました。

審議された議案及び結果は3ページ表1のとおりで、主な内容は次のとおりです。

表彰

- ▼**角田市表彰条例による表彰者について**
- ◎**地方自治功労者**
角田字田町131番地1 本 田 敏 昭 氏
 - ◎**教育文化功労者**
枝野字寄井46 毛 利 儀 平 氏
 - ◎**治安維持功労者**
笠島字石生43 齋 藤 清 春 氏
角田字野田前199番地2 佐 藤 清 一 氏
 - ◎**調査統計功労者**
横倉字左閑184番地8 島 貫 武 夫 氏
 - ◎**納税貯蓄功労者**
尾山字一の矢17番地 佐 藤 清 一 氏
角田字栄町98番地 元 氏
二階堂

◎**運輸交通功労者**
角田字南83番地7 金 子 宏 氏

▼**副市長の選任について**
梶賀字高畑南58番地1 小 野 隆 男 氏(再任)
(任期は平成24年9月26日、平成28年9月25日まで4年間)

▼**教育委員会委員の任命について**
豊室字沼頭97番地4 星 文 和 氏(再任)
佐倉字宿西13番地 太 田 京 子 氏(再任)
(任期は平成24年10月1日、平成28年9月30日まで4年間)

▼**固定資産評価審査委員会委員の選任について**
枝野字賀川54番地2 本 田 方 夫 氏(再任)
(任期は平成24年10月12日、平成27年10月11日まで3年間)

条例

▼**角田市復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定について**
東日本大震災復興特別区域法に基づく復興推進計画を作成し認定を受けたことによ

り、復興産業集積区域内で一定の要件を満たした事業を行う事業者に対し、地方税法第6条第1項の規定に基づき固定資産税の課税免除を行うため、条例を制定するものです。

▼**角田市東日本大震災復興特別区域法第28条第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定について**

東日本大震災復興特別区域法に基づく復興推進計画を作成し認定を受けたことに伴い、同法第28条第1項の規定により、工場立地法に規定された準則に代えて、「緑地及び環境施設の敷地面積に占める割合」を条例で定めることができるようになったため、条例を制定するものです。

予算

▼**一般会計(第3号)**
歳入歳出予算にそれぞれ1億2763万9千円を追加補正するとともに、地方債の補正を行うものです。

歳入の主なものは、国庫支出金と繰越金の追加で、歳出の主なものは、次の事業です。

○不活化ポリオワクチン接種

諮問

▼**人権擁護委員の候補者の推薦について**
角田字南100番地1 佐々木 幸 江氏(再任)

意見書の提出

国の関係機関へ次の意見書を提出しました。

▼**地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書**

表1

第364回定例会審議結果一覧

議員数は18名。議長は表決に加わらないため、表決に参加した議員数は17名。(○…賛成、×…反対)

件名	議決年月日	議決結果	会派				
			クラブみんしん	政友会	市民クラブ	日本共産党角田市議団	無会派
市長提出議案							
人事案件							
角田市表彰条例による表彰者について	9月5日	可決	○	○	○	○	○
副市長の選任について	9月5日	同意(賛成15 反対2)	○	○	○	×	○
教育委員会委員の任命について	9月5日	同意	○	○	○	○	○
人権擁護委員の候補者の推薦について	9月5日	同意	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員の選任について	9月27日	同意	○	○	○	○	○
平成24年度補正予算							
一般会計補正予算(第3号) 国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 介護保険特別会計補正予算(第2号) 公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) 農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	9月25日	可決	○	○	○	○	○
条例							
角田市防災会議条例及び角田市災害対策本部条例の一部改正について	9月25日	可決	○	○	○	○	○
一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について	9月27日		継続審査				
角田市復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定について	9月27日	可決(賛成14 反対2)	○	○	○	×	○
角田市東日本大震災復興特別区域法第28条第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定について	9月27日	可決	○	○	○	○	○
特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○
決算							
平成23年度角田市一般会計及び各種特別会計歳入歳出決算の認定について	9月27日	認定(賛成14 反対2)	○	○	○	×	○
平成23年度角田市水道事業会計決算の認定について							
議員提出議案							
地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の提出について	9月27日	可決	○	○	○	○	○

◀各会派の構成メンバー▶
 ●クラブみんしん(谷津睦夫、今野林一郎、細川健也、相澤邦戸、柄目孝治)
 ●政友会(渡邊誠、齋藤正一郎)
 ●市民クラブ(本田敏昭、小島正、湯村勇)
 ●日本共産党角田市議団(日下七郎、八島定雄)
 ●無会派(会派に属さない議員) 小湊毅、馬場道晴、伊藤善昭、玉手安博、佐藤正友議長、高橋力雄副議長

※9月27日の表決に参加した議員数は16名。



今野林一郎 議員

観光の振興について

議員▼市長は所信表明で観光の振興については、特に来年度の宮城・仙台デスティネーションキャンペーンに向けて従来の菜の花まつり、梅まつり、ずんだまつり、金津七夕など角田を代表する観光イベントを充実するとともに宇宙をテーマにした新たなイベントを創造するとしていますが、具体的な取り組みを伺います。市長▼仙台・宮城観光キャンぺーン事務局には既に角田市の観光事業として14件、うち宇宙をテーマにした事業4件を提案しています。さらに、伊達なバス旅というのがあり、ここにも5件の事業を提案しているほか、各旅行会社へのPRにも努めています。

また、現在のコスモハウスの隣に、(仮称)子ども宇宙科学学習館の整備を計画しています。角田宇宙センターとの連携をさらに密にすることで、各種セミナーの開催や親子宇宙教室を充実するなど子供たちの科学力向上と交流人口の拡大につなげていきたいと考えています。議員▼角田の米、豆、梅、3つを活用して、宇宙食を食品製造会社にお願ひし、米ならば「銀河米」、梅ならば「宇宙の梅干し」、豆ならば「はやぶさ豆」などとして世の中にPRしてはどうでしょうか。市長▼現在進めている角田3つめの食のブランド化について大変有効な方法だと思えますので検討します。

相互の理解と親善を深めることにより宇宙平和の一翼を担うという目的のようですが、角田市も銀河連邦へ加入する考えはないのか伺います。市長▼先日、相模原市議会の議員さんが当市を訪問していただいたときに、お話を伺っており、議員さんからは、ぜひとも相模原市に来てくださいたいというお話もありましたので、相模原市の市長さんと話してみたいと思えます。議員▼70万人都市の相模原市とJAXAを介して交流を深め、アンテナショップを開設してはどうですか。市長▼農産物の振興、角田ブランドの活性化を目指そうという今機運が高まっている中で、費用対効果等、十分調査のうえ検討します。



相澤邦戸 議員

高齢者福祉計画・介護保険事業計画の運用について

議員▼前4期の計画と今5期を比較して、どの様な改善をしたのか伺います。市長▼自治センター単位で地域での通所型介護予防事業の実施や、保健師等が家庭を訪問し個別の介護予防プランを提供する訪問型介護予防事業に力を入れています。議員▼65歳以上の方は8,500人余りおり、計画

書の対応人数の数値を見ると改善したとは思えませんがいかがですか。市長▼目標をしっかりと設定しながら、職員が介護予防に努めていくことを心がけていかなければならないと思えますので、指導します。議員▼地域での交流の場ともいえる高齢者サロンの年1回の研修会には62人も参加しており、関心があると思えます。指導助言をして、さらに増やしていく予定はないのか伺います。社会福祉課長▼今後、さらに地域に広がってきたいと思えます。また、来月には、指導者の育成研修会を開催することにしています。

議員▼事業に不参加の方はどの程度いますか。また、その方々にはどの様に対応していくのか伺います。市長▼約90%の方が不参加で、男性の参加が少ないため、事業のチラシを配布し男性の参加者を増やす工夫をしています。また、外出が面倒だという方には、訪問活動をしていきます。さらに、民生委員や保健師の連携を密にしながら地域の実態を把握し対応策を検討します。議員▼高齢者が見やすい情報提供をお願いします。

議員▼高齢者が見やすい情報提供をお願いします。

議員▼自治センターは毎日使用されていますか。また、早くできませんか。生涯学習課長▼現場の声を聞くと思われませんが、今しばらくお待ちください。相澤議員その他の質問 ○角田衛生センターにおける放射能汚染物質焼却について

議員▼子育て環境が良いかという点の中から特に学校という点に絞って質問しますが、ここ4年の間に西根中学校と小田小学校が廃校になりました。これは、平成17年に作られた「角田市立学校施設整備の将来構想について」というものに基

いています。この将来構想では、平成30年から平成34年の間に枝野小学校・東根小学校・西根小学校が廃校になる予定になっています。この将来構想を再度作成する予定はありますか。教育長▼この将来構想を基本とし学校施設整備を今後進めていきますが、5年あるいは10年のうちには見直しをかける時点があるだろうと考えています。これからの可変的要因を様々な角度から分析し、将来の角田市立学校のあるべき姿を考えていかなければなりません。このプロセスでは多くの市民の皆様・保護者の皆様のご意見を踏まえていく必要があります。学校再編を児童数の上だけで議論することは差し控えるべきだと考えています。

議員▼住む場所があるかという点について、現在、市営住宅の整備が予定されていますが、中心部にある市営住宅の建替えだけでなく、一部でも周辺部の学校の近くへ市営住宅を建設すべきではないでしょうか。市長▼角田市の人口動態や財政事情から見れば非常に困難だと考えています。不可能ではないにしても、建設しても入居がないというのでは困りますので、十分な需要調査が必要だろうと考えています。議員▼周辺部での定住を促す、また被災地の方々の移住受け入れのためにも、周辺部での宅地造成を行うべきではないでしょうか。市長▼角田駅前・岡駅前等5ヶ所の区画整理地内の50%以上の未利用地の活用を進めることが第一義と考えています。農山村部への定住向上の重要性については私も十分理解しています。定住人口の確保、地域全体の発展の為、様々な先進事例に学んでいく必要があると考えています。



小湊 毅 議員

角田市の人口減少抑制について

議員▼待機児童解消に向けた解決策を伺います。市長▼待機児童解消のためには保育所の増築も必要になってくると思っております。以前にも旧中島保育所については定員超過の状態にあって、プレハブの園舎を増築したという経緯もあり、今回も増築していかざるを得ないと思っております。ただ、現在の中島保育所のスペースの問題等、また新しく角田保育所をつくる場合、どれほどの定員にしていくか等々、もう少し時間をかけてはならないと思っております。いつまでも時間をかけていられないことですから、早急にこの件については検討します。

議員▼放射能汚染から子どもと市民及び地域を守る対策について。議員▼除染の優先順位2位に通学路、公園、公共施設、住宅及びこれに隣接する道路とあります。これらの除染実施スケジュールについての概要と具体的な除染実施計画はいつごろ提示されるのか伺います。市長▼来年度は、子どもが多く利用する公園、公共施設を優先的に実施する予定です。これらの進捗状況により、他の施設も順次進めてまいります。今年度計画している除



八島定雄 議員

子育て応援策の充実等について

議員▼待機児童解消に向けた解決策を伺います。市長▼待機児童解消のためには保育所の増築も必要になってくると思っております。以前にも旧中島保育所については定員超過の状態にあって、プレハブの園舎を増築したという経緯もあり、今回も増築していかざるを得ないと思っております。ただ、現在の中島保育所のスペースの問題等、また新しく角田保育所をつくる場合、どれほどの定員にしていくか等々、もう少し時間をかけてはならないと思っております。いつまでも時間をかけていられないことですから、早急にこの件については検討します。

議員▼住む場所があるかという点について、現在、市営住宅の整備が予定されていますが、中心部にある市営住宅の建替えだけでなく、一部でも周辺部の学校の近くへ市営住宅を建設すべきではないでしょうか。市長▼角田市の人口動態や財政事情から見れば非常に困難だと考えています。不可能ではないにしても、建設しても入居がないというのでは困りますので、十分な需要調査が必要だろうと考えています。議員▼周辺部での定住を促す、また被災地の方々の移住受け入れのためにも、周辺部での宅地造成を行うべきではないでしょうか。市長▼角田駅前・岡駅前等5ヶ所の区画整理地内の50%以上の未利用地の活用を進めることが第一義と考えています。農山村部への定住向上の重要性については私も十分理解しています。定住人口の確保、地域全体の発展の為、様々な先進事例に学んでいく必要があると考えています。

議員▼放射能汚染から子どもと市民及び地域を守る対策について。議員▼除染の優先順位2位に通学路、公園、公共施設、住宅及びこれに隣接する道路とあります。これらの除染実施スケジュールについての概要と具体的な除染実施計画はいつごろ提示されるのか伺います。市長▼来年度は、子どもが多く利用する公園、公共施設を優先的に実施する予定です。これらの進捗状況により、他の施設も順次進めてまいります。今年度計画している除

《総務財政常任委員会》

視察期間

平成24年7月25日(水)～27日(金)

視察地・目的

①愛知県高浜市「行政改革の取り組みについて」

②岐阜県瑞浪市「市民と行政の協働のまちづくりについて」

視察所感

①愛知県高浜市

高浜市では、平成7年に市が全額出資する会社として、全国で最初となる「高浜市総合サービス株式会社」を設立しました。

役所を肥大化させずコストを抑えながらサービスを向上させる、この取り組みは、行政改革の先進的な成功事例として高く評価されています。

高浜市では、なぜこのような取り組みをしたのか。それは、行政事務は、正職員でなくてもできる仕事も多いこと、臨時職員は、長期採用ができないこと、民間企業の顧客第一主義の観点から、サービスの低下はないこと、同じサービス水準なら、コストの安い担い手を選択することは当然の市場原理であること、自治体は地域独占型サービス業であるが故に、自ら競争の原理が働く仕組みをつくることから、はじまったものであります。

この取り組みにより、市役所のスリ

ム化と地域の雇用創出が図られ、また、正職員を配置した場合と比較し、経費の節減も図られ、さらに、サービスが低下したという苦情もないということがあります。

角田市においては、厳しい財政状況と新たな行政ニーズに 대응するために、「角田市新行政集中改革プラン」を平成22年3月に策定し、「行政改革に取り組んでおります」。

市民に信頼される行政運営を行い、市民が誇りを持って住めるまちを目指し、市役所改革と財政改革を重点改革目標として推進し、職員の減員による人件費の削減、指定管理者制度の導入による行政のスリム化を推進するなど改革が進められております。

社会経済情勢の変化に伴い、住民ニーズが多様化し、それに伴い公共のサービスは、拡大する傾向にあります。市民のニーズをよりの確に把握し、効率的で効果的な行政対応を図り、公共のサービスにおける行政の役割範囲を見極め、市民と行政の協働のまちづくりや指定管理者制度の導入など、民間に委ねることが出来るものは民間にその意向が進んでいきます。

高浜市では、地域住民との「協働」による行政運営を進め、「住民力」「行政力」「財政力」の強化を柱とした構造改革を実施し、誰もが共生できるまちづくりにも取り組まれ、「小さな地

方政府を」目指して更なる事業、可能性を探っております。

「コストを抑えサービスを向上させる」この取り組みに対し、高浜市の強い意気込みを感じるとともに、今後、行政改革に取り組むにあたり大いに参考になりました。

②岐阜県瑞浪市

瑞浪市の夢づくり地域交付金制度は、地域が自ら行うまちづくりの活動を支援するため、住民により構成された地区まちづくり推進組織に対し、夢づくり地域交付金を交付して財政的な支援を行っています。

多くの市民の方に夢づくり交付金制度についての理解を高めていただくとともに、今後の交付金事業に活かしていただくため、ステップアップ事業の交付決定を受けた事業については、事業成果等を広く一般の方へ公表していくことにしています。

角田市においては、平成19年度に地域づくり総合交付金制度をスタートさせ、市民が自主的、かつ、主体的に取り組む地域づくり活動事業に対し、地区振興協議会に、地域づくり総合交付金を交付しております。

また、平成24年度に住民自治活動支援事業補助金制度をスタートさせ、市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、地域の課題を解決しようと

する住民自治組織が行う地域づくり活動事業に対し、地区振興協議会に、住民自治活動支援事業補助金を交付しております。

瑞浪市では、市民協働課に夢づくり地域活動支援室を設け、市民と協働のまちづくりへの取り組みを強化しております。

市民からは、交付方法・配分金額、財源充当、交付申請時期、事務手続き、支援員制度などについて、様々な意見が寄せられ、常に市民の意見を聞く姿勢が見られ、見直し改善が図られ対応しております。

今後、市民と行政の協働によるまちづくりを進めるうえで、市民の意見を良く聞き、事業に取り組む必要性を強く感じました。



▲行政改革の取り組みについて説明を受ける

《教育厚生常任委員会》

視察期間

平成24年7月23日(月)～25日(水)

視察地・目的

①兵庫県稲美町「介護予防事業の取り組みについて」

②兵庫県小野市「介護予防事業の取り組みについて」

③埼玉県行田市「孤立死の防止対策の取り組みについて」

視察所感

①兵庫県稲美町

稲美町の人口は、31,821人(平成24年4月1日現在)、角田市の人口は、31,548人(平成24年3月末現在)で人口規模はほぼ同じです。高齢化率は、稲美町23.8%(平成24年4月現在)、角田市は27.9%(平成23年末現在)です。介護保険第5期の保険料の基本額は、稲美町は第4期現状維持で4,300円、角田市は前期より750円アップし、4,950円となり、負担感は強まった状況となっています。サービスの如何によるところが課題であると思います。

稲美町の介護予防に対する理念は、「高齢者がなぜ活動を低下させたか原因を分析し取り組むことです。次に起こりうる事態を予測し、予防的な対処を行うことです。個人はもちろんですが個人を取りかこむ地域への働きかけも重要です。」との理解から事業に取り組んでおり、その思いと活動は大変すばらしいと感じました。高齢者の状

況により、「いきいきセミナー」、「いきいきサロン」、「いきいき広場」と自治会を中心に、それを足がかりに地域の活動を皆で考えるようになってきているとの事で大いにわが市においても参考になると感じました。

②兵庫県小野市

一次予防事業(元気な高齢者対象)として教育委員会と共同開発した俳句や歴史にそった文の音読、漢字の読み書き等の認知症予防のテキストを作っています。又、東洋療法を取り入れた体操「楽らく体操」を開発しています。おの楽らく体操は年々参加者が増えてきています。

二次予防対象者把握事業では65歳以上の方に郵便による自己介護予防チェック調査を行い84%の回答を得ています。他のやり方と違うところは、残りの未回収者に電話や訪問による調査を行い、それと同時に安否確認をしています。

又、教室不参加の理由を調査し、改善を加え、事業への参加をしやすくしています。そして又、教室を開く公民館の改築を国の補助金を使って活性化している点も見のがせない施策です。地域での介護予防を継続していくために介護予防サポーターを育成し、各町単位に「さわやか元気教室」を開き、教室の運営活動にたずさわってもらい内容的にも、生きがい、楽しみがあるものを常に検討し、高齢者の実態把握と調査を常に行っています。介護予防

事業における課題をさぐり、その対策を常に怠らず、参加しない方々への対応を検討していますが、これはなかなか実行できることではないと思います。小野市の介護予防を推進する人と、参加する人との間に住民の主体性と役割分担を持たせて進めていることは、まさに「住民が実践していくまちづくり」であると感じました。

又、平成21年度の国の補助事業で社会福祉協議会に委託をし、生活支援サポーター養成講座を開き、「市民が共に支えあう」を市民自らが考える機会にしていることも市民の自主性を重んじている事の表れだと思えます。

おの介護ファミリィサポートセンターを立ち上げ、依頼会員と協力会員の支え合いに料金支払いを発生させたことも支えあいの大事さと利用しやすさを表面化させたと思えます。

市民の活動を前面に出し、困難なことをいかに解決していくか、それは行政の役割だと言いつけるやり方に感心させられました。

③埼玉県行田市

安心生活創造事業の基本理念は、「悲惨な孤立死、虐待などを1例も発生させない地域づくり」です。事業の3原則は、基盤支援を必要とする人々(どこにいるか)、そのニーズ(どういったニーズか)を把握する、基盤支援を必要とする人がもれなくカバーされる(マップを作る)体制をつくる、です。3年間は、国庫補助を受け、その後は



▲「おの楽らく体操」を体験中

市議会12月定例会

日程(予定)のお知らせ

- 11月26日(月) 招集告示
会派代表者会議
- 29日(木) 議員協議会
議会運営委員会
- 12月 3日(月) **本会議** (提案理由の説明)
会派代表者会議
- 4日(火) 議会運営委員会
- 7日(金) 常任委員会 (請願審査)
- 10日(月) **本会議** (質疑・自由討議)
- 13日(木) 常任委員会 (議案審査)
- 14日(金) 常任委員会 (議案審査)
- 17日(月) 議会運営委員会
- 18日(火) **本会議** (討論・表決・一般質問)
会派代表者会議
- 19日(水) **本会議** (一般質問)
議会運営委員会
- 20日(木) **本会議**
議会運営委員会

※請願及び陳情等の提出期限は、11月26日(月)までとなります。
 ※本会議の開会時刻は、午前10時です。
 ※太文字はライブ配信を行います。

議会を傍聴しませんか。

定例会は、年4回開催されます。皆さんの身近な問題が審議されており、どのような方針で市政が進められていくのか知ることができます。

お気軽に足を運んでみませんか。

また、インターネットを利用したパソコン、各地区自治センターのテレビ及び市役所東庁舎1階の市民ホールのテレビでも議会中継がご覧になれます。

※日程は変更される場合がありますので、傍聴を希望される場合は、議会事務局 (☎63-2124) にお問い合わせください。

傍聴者数

第363回(平成24年8月)臨時会 0名
 第364回(平成24年9月)定例会 16名

インターネットライブ中継視聴者数

第364回(平成24年9月)定例会 53名

議会日誌

7月

- 17日 埼玉県坂戸市行政視察
- 19日 教育厚生常任委員会
- 23日 教育厚生常任委員会行政視察(〜25日)
- 24日 仙南地域広域行政事務組合議会定例会
- 25日 総務財政常任委員会行政視察(〜27日)
- 1日 市議会だより167号発行
- 第363回臨時会招集

9月

- 2日 会派代表者会議
- 3日 議員協議会
- 8日 議会運営委員会
- 10日 第363回臨時会
- 13日 宮城県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 20日 会派代表者会議
- 22日 教育厚生常任委員会
- 28日 会派代表者会議
- 29日 宮城県市議会議長会事務局長会議
- 31日 第364回定例会招集
- 5日 告示
- 29日 会派代表者会議
- 31日 議員協議会
- 5日 議会運営委員会
- 6日 正副常任委員長会議
- 11日 神奈川県相模原市議会
- 12日 議員行政視察(〜12日)
- 13日 定例会本会議(第2日)
- 14日 決算審査特別委員会
- 18日 決算審査特別委員会
- 19日 会派代表者会議
- 20日 科会(総務財政・産業建設)
- 21日 決算審査特別委員会
- 24日 議会運営委員会
- 25日 神奈川県相模原市議会
- 26日 議員行政視察(〜12日)
- 27日 定例会本会議(第2日)
- 27日 決算審査特別委員会
- 27日 会派代表者会議
- 27日 科会(総務財政・産業建設)
- 1日 教育厚生常任委員会
- 19日 決算審査特別委員会分科会(教育厚生)
- 20日 総務財政常任委員会
- 21日 産業建設常任委員会
- 21日 会派代表者会議
- 24日 教育厚生常任委員会
- 25日 議会協議会
- 26日 議会運営委員会
- 26日 定例会本会議(第3日)
- 27日 定例会本会議(第4日)
- 27日 議会運営委員会
- 27日 定例会本会議(第5日)
- 27日 議会運営委員会
- 27日 議会だより編集会議

10月

- 4日 議会運営委員会
- 4日 大阪府寝屋川市議会議員行政視察
- 9日 和歌山県海南市議会議員行政視察
- 10日 議員協議会
- 12日 議会だより編集会議

編集後記



第364回定例会は9月27日に閉会しました。この議会は「決算議会」とも呼ばれ、市が前年度の予算を適正に処理していたかを審議する大切なものです。9月中旬頃まで続いた猛暑の中、暑さとの戦いでもありました。

今回の決算は、昨年発生した3・11の大震災に伴う復興関連経費が含まれているだけに、慎重に審議を進めました。結果については「問題ありません」でした。(詳細は4ページ)

また、角田市議会が取り組んだ新たな事業をお知らせします。日頃から「市民にわかりやすく開かれた議会」を目指していますが、その一環として9月定例会より議会のライブ中継を開始しました。ご自宅のパソコン等で視聴できますので、様々なご意見をお待ちしております。

なお、このライブ中継開始の記念事業として「角田市子ども議会」を開催しますので、ぜひ視聴ください。(詳細は9ページ)今後とも、角田市議会は一層市民の皆さんと手を携えて進めてまいります。日毎に寒さに向かいますが、市民皆様方の益々のご自愛お祈り申し上げます。

議会だより編集会議

